

司 式 熊 田 雄 二 牧 師  
奏 楽 大 日 南 苗 香 姉 妹

前 奏  
開 会 招 詞

\* 賛 美 歌 14:1 ほめたたえよ創り主を

ほめたたえよ創り主を きよき御前にひれふし  
ささげまつれ身をも魂をも たぐいなき御名を崇めて アーメン

\* 開 会 祈 禱

罪 の 告 白 祈 禱 書 3 罪 の 告 白 ②

主なる神よ、あなたの御前に背きの罪を告白します。わたしは聖なる戒めに従わず、失われた羊のように迷い出て、思いと言葉と行いにおいて罪を犯しました。しなければならないことをせず、してはならないことをして、自分の身に、あなたの怒りと裁きを招きました。憐れみに富んでおられる父よ、罪と過ちを悲しむわたしに憐れみを注いでください。神の独り子である救い主の名によって、わたしを赦してください。聖霊の恵みによって、わたしを新しく生まれ変わらせてください。願わくは今から後、み栄えのために生きる者とならせてください。

主イエス・キリストの御名によって。アーメン。(詩編32、イザヤ53、ローマ7)  
罪の赦しの宣言

十 戒 祈 禱 書 4

1. あなたは、わたしのほかに、何者をも神としてはならない。
2. あなたは自分のために刻んだ像を造ってはならない。それにひれ伏してはならない。それに仕えてはならない。
3. あなたは、あなたの神、主の名を、みだりに唱えてはならない。主は、み名をみだりに唱える者を、罰しないではおかない。
4. 安息日をおぼえて、これを聖とせよ。
5. あなたの父と母を敬え。
6. あなたは殺してはならない。
7. あなたは姦淫してはならない。
8. あなたは盗んではならない。
9. あなたは隣人について偽証してはならない。
10. あなたは隣人の家をむさぼってはならない。隣人の妻、またすべて隣人のものをむさぼってはならない。(出エジプト20、申命記5)

\* 賛 美 歌 14:2 くすしきかな神の力

くすしきかな神の力 荒ぶる波をしずめて  
あやうきより御民を守り この世の悩みに勝たしむ アーメン

公同の祈祷 祈祷書31 新年第一主日

えいえん ぜんのう かみ みな めぐ す いちねん まも しゆくふく  
永遠にいます全能の神さま、御名をほめたたえます。恵みによって過ぐる一年を守られ、祝福の  
うちに新年を迎えることができ、感謝いたします。

どうかこの年も、御前に掲げた目標を目指し、教会生活と日ごとの生活において主の道を歩  
み、あなたから与えられた使命を果たして生きることができるよう。わたしたちが献身的に神  
と教会と人々に仕えるため、信仰と健康と経済生活の全てを祝福してください。(詩編96、フィ  
リピ2〜3)

献 金 (黒) 教会活動 (赤) 札幌伝道所 70

今ささぐるそなえものを 主よ きよめて うけたまえ アーメン

聖書朗読 詩篇135・136編(旧約聖書975頁)

説教・祈祷 「慈しみはとこしえに」 熊田雄二牧師

\* 賛美歌 14:3 恵みの神

恵みの神 栄えの主を もろ声あげてたたえよ  
強き手もて導きたもう主にのみ御栄え尽きざれ アーメン

\* 主の祈り 祈祷書1

てん われ ちち  
天にまします我らの父よ  
ねが み な  
願わくは御名をあがめさせたまえ  
みくに き みこころ てん ち  
御国を来たらせたまえ 御心の天になるごとく 地にもなさせたまえ  
われ にちよう かつ きょう あた  
我らの日用の糧を 今日も与えたまえ  
われ つみ おか もの われ ゆる  
我らに罪を犯す者を我らが許すごとく 我らの罪をも許したまえ  
われ こころ あ あく すく だ  
我らを試みに会わせず 悪より救い出したまえ  
くに ちから さか かぎ なんじ  
国と力と栄えとは 限りなく汝のものなればなり アーメン。

\* 頌 栄 65父・御子・御霊の

父・御子・御霊の大御神に

ときわにたえせず 御栄えあれ 御栄えあれ アーメン

\* 祝 禱

後 奏 (黙禱)

報 告 松下保彦長老 当番執事：星野・長尾(佐藤・藤井)

## I 序

新年には、日本中、神社やお寺に初詣でする人が多いですが、新型コロナウイルスの影響で、今年は三密を避けて分散するよう工夫しているようです。私たちも同じで、1月1日に全員集まる新年礼拝はできませんでした。クリスマスと同じように、二回の主日に分けて新年礼拝を献げることになりました。

さて、去年まで10年くらい、詩篇の「都上りの歌」を新年礼拝で説教しましたが、去年の134編で都上りの歌が終わり、きょうの135編からはハレルヤ詩編を中心に、都に集った礼拝者の、神殿での讚美や祈りの歌となります。神殿は「主の家」、「神の家」ですから、私たちにとっては教会です。

## II 135編 交読

ハレルヤは、「ハレル」と「ヤ」からなります。「ハレル」は「讚美せよ」、「ヤ」は「ヤハウエ＝主」ですから、「主を讚美せよ」という意味です。「主を讚美せよ」というフレーズ自体たくさん出てくるのですが、ハレルヤは、アーメンと共に、定まった礼拝用語となって、こんにち、世界中の教会に歌い継がれています。

「ハレルヤ」と主を讚美するとき、「恵み深い主」という言葉も繰り返し出てきます。天地創造において「恵み深い主」というとき、「天において、地において、海とすべての深淵において、主は何事をも御旨のままに行われる」と、創造主の主権を仰ぎます（6節）。

救いのみわざにおいて「恵み深い主」というとき、「主はエジプトの初子をことごとく、人の子も家畜の子も撃ち、エジプト中に、しるしと奇跡を送られた」と、エジプトの王ファラオ以上の力強さを讚美します（8節～）。

## III 136編 交読

136編は、神殿礼拝での交読文のようです。司会者が「恵み深い主に感謝せよ」と言うと、会衆は「慈しみはとこしえに」と声を合わせます。「恵み深い主」という恵みが、135編に続いて136編でも、創造と救いのみわざにおいて列挙されていきます。

「ただひとり驚くべき御業を行う方」、「英知をもって天を造った方」、「大地を水の上に広げた方」、「大きな光を造った方」、「昼をつかさどる太陽を造った方」、「夜をつかさどる月と星を造った方」に「感謝せよ」と言うと、会衆は「慈しみはとこしえに」と答えます。スケールの大きな創造の御業の中で、私たちはもろもろの恵みをいただいて感謝します。

救いの御業の方は2倍の長さで列挙しています。スケールの大きいものもありますが、私たち一人一人に当てはまることに目を留めてみましょう。16節「荒れ野を行かせた方に感謝せよ」。23節「低くされたわたしたちを御心に留めた方に感謝せよ」。

十字架の死に至るまで低くされたキリストを思うと、慈しみ深い主イエスが、人生の荒れ野の友です。いつも共にいます友です。